

再評価調書

NO. 1

事業名	かんがい排水事業(一般型)		事業区間	西江中江 地区(坂井市坂井町 あわら市)		
事業目的						
<p>本地区は、九頭竜川から取水している十郷用水路の末端受益であり、幹線用水路から各揚水機場に送水され末端パイプラインにより配水されている。しかし、用水配分の不均衡、用水施設の老朽化に伴う維持管理費の増大などの問題を抱えている。</p> <p>このため、国営かんがい排水事業 九頭竜川下流地区による幹線水路のパイプライン化に併せて、本事業で用水路をパイプライン化するとともに水管理システムを再構築することにより、良質な農業用水を確保し、安定的な農業生産構造の確立を図る。</p>						
全体事業内容						
管水路工 L=7,220m 水管理施設 N=1式						
事業計画	事業採択年度	用地着手年度	工事着手年度	完成予定年度		
	平成19年度	平成20年度	平成19年度	平成27年度		
事業費(千円)		全体事業費	執行済み額(H24年度まで)	進捗率(H24末)	残事業費(H25以降残額)	備考
予 算 額		5,161,000	4,469,800	86.6%	691,200	
財 源 内 訳	国 庫	2,580,500	2,234,900		345,600	
	県 他	2,580,500	2,234,900		345,600	
費用対効果		1.04 (総費用 164.9億円 総便益 172.6億円) 【参考:残事業B/C 7.12】				
事業の進捗状況	H24までの状況	農業用用水 7,170m				
	H25以降残事業	農業用用水 50m 水管理施設 1式				
前回との比較	前回計画	今回計画	変更となった理由			
全体事業費	47.0億円	51.6億円	パイプラインに使用する鋼材価格の高騰および埋蔵文化財調査費用が発生したため			
完成予定年度	平成27年度	平成27年度	—			
事業を休止した場合の影響						
<p>国営事業で整備している幹線パイプラインとの接続が完了し、受益地のうち387haについては平成24年4月から供用開始、残り725haの受益地に配水が不可能となり、事業効果が発現されない。また、引き続き、用水施設の老朽化が進行することにより、維持管理や水管理に係る農家への負担が増大し、農業経営が圧迫される。</p>						
備 考						

再評価調書

NO. 2

事業名	畑地帯総合整備事業		事業区間	三里浜砂丘地地区(坂井市三国町米納津 他)		
事業目的						
<p>本地区はラッキョウ・大根・スイカ等の特産物の生産地であるが、水源である地下水への塩水混入や、飛砂による農作物の生育障害、また塩水による用水施設の機能障害が発生している。このため、国営事業と一体的に水源転換及び用水施設の再編整備を行うとともに防砂ネットを施工するなど、地域の課題を解決し、園芸作物の生産拡大を図る。</p>						
全体事業内容						
農業用用水 13.9km 農道整備 0.4km 暗渠排水 75.8ha 農地保全 16.0km						
事業計画	事業採択年度	用地着手年度	工事着手年度	完成予定年度		
	平成9年度	—	平成9年度	平成27年度		
事業費(千円)		全体事業費	執行済み額(H24年度まで)	進捗率(H24末)	残事業費(H25以降残額)	備考
予 算 額		3,464,000	3,191,000	92.1%	273,000	
財 源 内 訳	国 庫	1,732,000	1,595,500		136,500	
	県 他	1,732,000	1,595,500		136,500	
費用対効果		1.06(総費用 70.7億円 総便益 75.5億円)【参考:残事業B/C 18.39】				
事業の進捗状況	H24までの状況	農業用用水 13.9km 農道整備 0.4km 暗渠排水 75.8ha 農地保全 12.0km				
	H25以降残事業	農業用用水 1.0式 農地保全4.0km				
前回との比較	前回計画	今回計画	変更となった理由			
全体事業費	34.1億円	34.6億円	パイプラインに使用する鋼材価格が高騰したため			
完成予定年度	平成24年度	平成27年度	国営事業の完了年に合わせて水管理システムの実施に併せて一体的に整備を行う必要があるため			
事業を休止した場合の影響						
<p>地下水の塩水混入や飛砂による生育障害が拡大するとともに、用水施設の機能障害により用水確保が困難となるため、生産性の低下が懸念される。</p>						
備 考						

再評価調書

NO. 3

事業名	林道事業	事業区間	奥越線(大野市下打波～大野市朝日前坂)			
事業目的						
効率的な林業経営の展開や適正な森林管理および森林が有する県土保全、水源かん養等の公益的機能の高度発揮を図るため、広域に及ぶ森林を健全に管理する骨格的林道として整備する。						
全体事業内容						
全体延長 L=26,493m 幅員 W=5.0m						
事業計画	事業採択年度	用地着手年度	工事着手年度	完成予定年度		
	平成元年度	-	平成2年度	平成26年度		
事業費(千円)		全体事業費	執行済み額 (H24年度まで)	進捗率 (H24末)	残事業費 (H25以降残額)	備考
予 算 額		5,673,200	5,440,300	95.9%	232,900	
財 源 内 訳	国 庫	2,206,928	2,096,024	/	110,904	
	県 他	3,466,272	3,344,276		121,996	
費用対効果		1.08 (総費用 89.6億円、総便益 97.4億円) 【参考:残事業B/C 1.26】				
事業の進捗状況	H24までの状況	延長 L=25,487m				
	H25以降残事業	延長 L=1,006m				
前回との比較	前回計画	今回計画	変更となった理由			
全体事業費	54.3億円	56.7億円	地山の土質調査の結果、工法変更や線形見直しにより延長が増えたため			
完成予定年度	平成26年度	平成26年度	-			
事業を休止した場合の影響						
利用区域内の約3割をスギを中心とした人工林が占めており、林道が今後整備されなければ、間伐等の適正な森林整備が進まず、公益的機能の低下が懸念されるとともに、間伐材等県産材の利用促進が図れなくなる。						
備 考						

再評価調書

NO. 4

事業名	林道事業	事業区間	越前南部線(越前市春日野町～南越前町山中)			
事業目的						
広域な森林地域において森林の持つ公益的機能の維持、向上に不可欠な間伐等の森林整備を進めるとともに、間伐材等県産材の利用を促進するための骨格的林道を整備する。						
全体事業内容						
全体延長 L=17,500m 幅員 W=5.0m						
事業計画	事業採択年度	用地着手年度	工事着手年度	完成予定年度		
	平成5年度	-	平成6年度	平成28年度		
事業費(千円)		全体事業費	執行済み額 (H24年度まで)	進捗率 (H24末)	残事業費 (H25以降残額)	備考
予 算 額		5,386,900	4,841,740	89.9%	545,160	
財 源 内 訳	国 庫	2,682,881	2,423,281		259,600	
	県 他	2,704,019	2,418,459		285,560	
費用対効果		1.18 (総費用 79.1億円、総便益 93.7億円) 【参考:残事業B/C 2.43】				
事業の進捗状況	H24までの状況	延長 L=16,403m				
	H25以降残事業	延長 L=1,097m				
前回との比較	前回計画	今回計画	変更となった理由			
全体事業費	54.2億円	53.9億円	道路幅員の縮小や現地発生材の有効利用によるコスト縮減を図ったため			
完成予定年度	平成25年度	平成28年度	残土処分場の確保交渉が難航したことから事業期間を延期したため			
事業を休止した場合の影響						
利用区域内の約45%をスギを中心とした人工林が占めており、林道が今後整備されなければ、間伐等の適正な森林整備が進まず、公益的機能の低下が懸念されるとともに、間伐材等県産材の利用促進が図れなくなる。						
備 考						